

会 議 録 (1)

会議の名称	令和5年度 第3回入間市文化財保護審議委員会
開催日時	令和6年3月12日(火) 午前10時開会・午前11時30分閉会
開催場所	入間市博物館 会議室
議長氏名	鹿島 英明
出席委員(者)氏名	鹿島 英明 枝窪 邦茂 柳澤 かほる 梅津 久昭 荒牧 澄多 小峰 孝男 青木 和子 児玉 俊雄 工藤 宏 小野 一之
欠席委員(者)氏名	なし
説明者の職氏名	博物館主幹 大久保 卓 副主幹 三浦 久美子
会議次第	(すべて公開) 1 開会 2 挨拶 3 議題 (1)入間市指定文化財の新規指定について〔資料1〕 (2)入間市指定文化財候補について〔資料2〕 4 報告 (1)令和5年度文化財防火訓練の実施について (2)その他 5 その他 6 閉会
傍聴者数	0人
配布資料	資料1：入間市指定文化財の新規指定について (会田津満全国巡礼関係史資料) 資料2：入間市指定文化財の新規指定について (老茶樹関係史資料)
事務局職員氏名	・教育部部長 浅見 嘉之 ・教育部次長 佐藤 政史 ・博物館館長 澤田 和也 ・博物館主幹 大久保 卓 ・博物館副主幹 三浦 久美子
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議事の概要（経過）・決定事項	
議 題	4 議 題 (1) 諮問事項の検討について
決 定 事 項	4 議 題 (1) 入間市指定文化財の新規指定について 「会田津満全国巡礼関係史資料」について、前回の意見から修正した指定理由書について検討した。一部の判断については委員長と事務局に任せることとし、この内容で新規指定の答申を行うこととした。 (2) 入間市指定文化財候補について 前回、指定文化財候補の「狭山茶大茶樹」については色々な観点から審議を継続していくこととし、その概要が「老茶樹関係史資料」として説明がされた。内容については次期の委員会で審議することとした。

会 議 録 (3)

発言者	発言内容
	4 議 題
	(1)入間市指定文化財の新規指定について
事務局	資料1は第2回会議で審議した内容で修正したものです。下線部分が修正部分です。(読み上げ)
鹿島委員長	質問や意見をお願いします。
工藤委員	指定文化財の対象として、供養塔の他に津満の墓石も入らないでしょうか。
事務局	墓石は一人の墓ですか。
工藤委員	夫と連名のものです。
事務局	墓石は巡礼に由来したものではないので、指定の本体ではなく「附(つかけたり)」としてはどうでしょうか。
工藤委員	墓石は会田津満がこの家で亡くなった確たる証で重要なものです。
小野委員	墓石の指定は史跡や旧跡などではありますが、この指定に入れるのは違和感があります。その墓は会田家として残していくものなのでしょうか。
工藤委員	会田家には確認してはいません。
柳澤委員	その墓石には今後追刻があるのでしょうか。
工藤委員	追刻は無いと思います。
事務局	市内でも旗本の墓は指定しています。指定にするということは、保護していく対象にするのかどうかです。例えば「墓じまい」の時は保護が必要になります。
柳澤委員	「墓じまい」の時は博物館で引き取れるのですか。
事務局	所有者との相談ですが、現地保存が第一で、やむを得なければ引き取ることもあるかと思えます。
工藤委員	会田さんの個人墓地なので、「墓じまい」の可能性は低いと思います。
梅津副委員長	私も墓石を入れるのは違和感があると思います。「附」とは何ですか。
事務局	指定には含まれますが、主と従(附)の関係で、主が無ければ従も無くなりますが、従が無くなっても主は残ります。
小野委員	墓石は巡礼後しばらくしてからのもので、この指定名称が巡礼資料となっていることから、除外するか「附」にするのがよいと思います。
荒牧委員	所有者の気持ちもあるので、委員長と事務局で調整してはどうですか。
鹿島委員長	それで良いですか。
一同	異議なし。
鹿島委員長	では議論も煮詰まってきたので、この内容でよろしいでしょうか。
一同	異議なし。
鹿島委員長	では新規指定文化財として市に推薦していくということでご賛同をい

会 議 録 (4)

発言者	発言内容
事務局	<p>ただきました。</p> <p>今後のスケジュールを説明します。答申を委員長から教育長にさせていただきます。3月の定例教育委員会で報告し、4月の定例教育委員会で議決されましたら、5月1日付で指定していきたいと考えています。指定は所有者の同意の上となります。</p>
鹿島委員長	<p>では私の方で答申書の提出に行ってみます。では次の議題に移ります。</p>
事務局	<p>資料2をご覧ください。前回まで審議してきた「狭山茶大茶樹」は天然記念物の分野でしたが、別の形で提案をいただいております。提案者の工藤委員から説明があります。</p>
工藤委員	<p>資料2の文書関係No. 454は青焼きの図です。No. 288は明治43年から昭和4年5月までで、アメリカ人のユーカーズが2回来ている他、やぶきたを発見した杉山彦三郎や政治家が訪れたことがわかります。写真は今の3代前の中村善兵衛、牧野富太郎が老茶樹と写っている写真です。老茶樹の樹幹は中村家に残っており、博物館にも寄託されています。参考文献は他にもあります。</p> <p>参考に、全国の大茶樹がどのような状況か説明します。静岡県藤枝の大茶樹は樹齢300年、佐賀県嬉野の大茶樹は江戸時代前期、鹿児島霧島の大茶樹は300年でしたが母樹は枯れて2代目です。まちづくりや霧島茶のPRに活かしています。茨城県の古内茶でも母樹からは枯れましたが挿し木で増やし、PR活動を盛んに行っています。</p>
鹿島委員長	<p>質問はありますか。</p>
荒牧委員	<p>これら他県の大茶樹は文化財指定されているのですか。</p>
工藤委員	<p>古くは大正年間に指定されています。嬉野は国指定。藤枝は指定無し。霧島は市指定になっています。</p>
事務局	<p>霧島は国指定が解除になったものです。また静岡県ではヤブキタの母樹が県指定です。</p>
梅津副委員長	<p>資料2ですが、いつもの指定候補の様式ではありませんが、前回までの老茶樹の補足資料ですか。</p>
事務局	<p>新しい指定文化財の候補と考えてください。今回はこのような形で提出させていただきました。</p>
梅津副委員長	<p>ではDNAなどとは別に、これで検討したいということですね。</p>
事務局	<p>次年度の保護審議委員会で審議をすすめていきたいと考えています。</p>
鹿島委員長	<p>では本件は次期の委員会で審議を継続していきます。また詳しい資料の提出をお願いいたします。</p> <p>5 報告</p>

会 議 録 (5)

発言者	発言内容
鹿島委員長	事務局から報告をお願いします。
事務局	(1) 文化財防火訓練の実施について
事務局	<p>お配りした訓練当日の配布資料をご覧ください。本年度は2月4日に三輪神社にて、神社、氏子の皆さま、地元消防団などの協力で開催しました。入間消防署による初期消火講習会、神社関係者による訓練、消防団による放水訓練を行いました。参加者は約70人でした。当日の様子はケーブルテレビや市のSNSで発信されました。</p> <p>この他、文化財防火デーの啓発として、文化財建造物の所有者には文化財防火デーのポスターなどを送付しました。</p>
事務局	(2) その他
事務局	<p>お配りしたチラシを説明します。令和6年度の「西洋館公開日」は4日間を予定しております。「西洋館講座」は3月17日に開催します。ジャズレコード鑑賞会は5月12日に計画しています。</p> <p>2点目の報告としては、旧黒須銀行の現状ですが、2月に行った3回目の入札が不調となり、業者が決まりませんでした。来年度の発注に向けて取り組んでいます。</p>
鹿島委員長	他の市町村の工事でも職人が手配できないとか、色々な問題があるようです。
荒牧委員	入札の参加はありましたか。
事務局	1回目、3回目はありました。
荒牧委員	差し支えない範囲で良いですが、どんな会社ですか。理由は何でしょう。
事務局	県内の会社です。資材の高騰などが考えられます。
鹿島委員長	では各委員から報告などがありましたらお願いします。
工藤委員	<p>3月1日に県立博物館で文化財レスキューの研修会に出席しました。陸前高田市の熊谷学芸員が講師でした。24人の職員の内18人が亡くなる大きな被害があり、被災状況、資料の救済方法などの解説がありました。津波被害からのレスキューは世界初で、現在の処理が今後どうなるかは不明ということです。時間、労力、人材を要する仕事ですが、65年間市民と共に活動してきたので、ボランティアが力になっています。また東北地方の博物館同士のネットワーク力が役立っていました。新たにオープンした博物館は、90%はこの救済された資料の展示です。この取組は被災直後に誰かが書いた「文化財を持ち去らないでください」のメモ書きから始まっています。「文化財が無い復興は真の復興ではない」の言葉が印象的でした。</p>
鹿島委員長	その他にありますか。
一同	ありません。

会 議 録 (6)

発言者	発言内容
鹿島委員長 事務局	では議長を下ります。 5 その他 来年度から西洋館の保存活用計画の見直しに取り組みたいと思っています。国の指針があります。見直しについても議題にしていきたいです。

事のてん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 6 年 3 月 30 日

議 長 の 署 名

鹿島英明

議長が指名した者の署名

梅津久昭